

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の結果を踏まえた 競技力向上対策について

1. 大会概要

(1) 大会開催期日

令和4年10月1日(土)～10月11日(火)

[会期前:9月10日(土)～15日(木)、17日(土)～19日(月)]

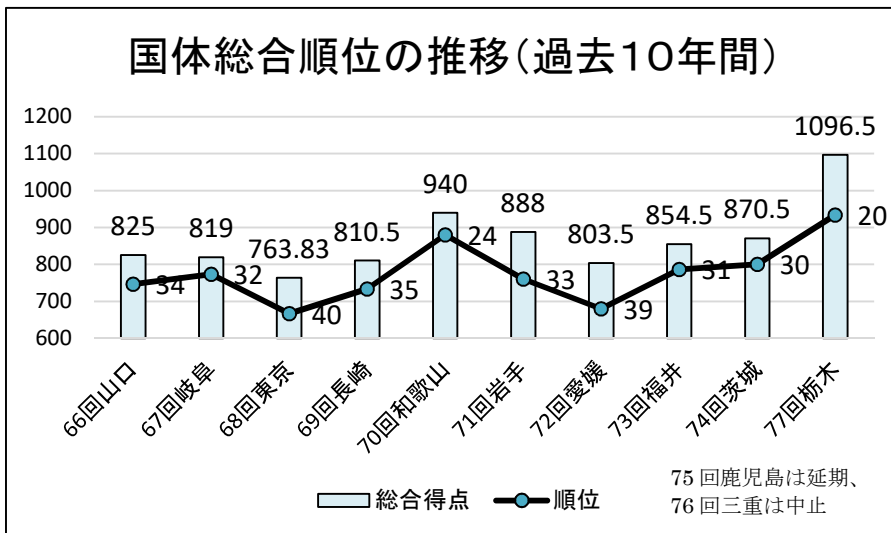
(2) 滋賀県選手団概要(本国体)

顧問:5名、本部役員:23名(帯同ドクター5名含む) 監督:52名、選手370名 計450名

(3) 今大会の成績

男女総合(天皇杯)成績 20位 1,096.5点 女子総合(皇后杯)成績 24位 608.0点

目標		結果
総合成績(天皇杯順位)	10位台への進出	20位
本国体入賞数	80種目以上	95種目
近畿ブロック大会突破数	65種目以上	45種目
成年種別獲得得点	370点以上	427.5点
少年種別獲得得点	230点以上	269.0点



第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の本県選手団の成績は、男女総合(天皇杯)1096.5点を獲得し20位である。目標としていた10位台への進出にはわずかに届かなかったが、過去10大会のみならず国体改革が行われた2巡目の京都国体まで遡っても、今大会の成績は最多得点・最高順位である。

なお、近畿ブロック大会の突破数(45種目)こそ目標に届かなかったが、本国体の入賞数・成年および少年種別の得点はそれぞれ目標を上回る成績を収めることができた。

2. 結果分析

(1) 種別 ～全種別で得点・入賞数が増加 特に成年の躍進が顕著～

成年種別では、前回大会に比べて男女合わせて30種目で入賞数が増加、競技得点も179.5点増加した。男女ともにスポーツ特別指導員をはじめ新たに獲得した選手が活躍し、数多くの種目で入賞した。また、団体競技を見ても成年女子バスケットボール（滋賀銀行）の優勝をはじめとする企業チームの上位入賞により、入賞数・競技得点ともに過去5大会で最多となっている。

少年種別については、成年種別ほどの伸びには至っておらず、少年種別の得点をいかに伸ばしていくかが課題である。

種別	競技得点（入賞数）				
	71 岩手国体	72 愛媛国体	73 福井国体	74 茨城国体	77 栃木国体
成年男子	175.5点 (20)	128.0点 (23)	136.5点 (23)	135.5点 (17)	242.5点 (37)
成年女子	92.0点 (9)	116.0点 (7)	50.5点 (9)	112.5点 (12)	185.0点 (22)
少年男子	176.0点 (26)	153.5点 (16)	176.5点 (18)	166.5点 (21)	196.0点 (27)
少年女子	44.5点 (5)	6.0点 (1)	91.0点 (11)	56.0点 (7)	73.0点 (9)
合計	488.0点 (60)	403.5点 (49)	454.5点 (61)	470.5点 (57)	696.5点 (95)

(2) 得点分類別 ～個人競技での入賞数が大幅増～

1倍種目（個人種目）は選手補強の効果がダイレクトに表れたこともあり、今大会での得点増加の主な要因となった。

一方、団体種目については5倍種目（5～7名：バスケットボール等）で僅かに伸びがみられる以外、3倍種目（2～4名：ボート2人艇等）、8倍種目（8名以上：ホッケー等）において入賞・得点獲得ができていないことが課題である。

	競技得点（入賞数）				
	71 岩手国体	72 愛媛国体	73 福井国体	74 茨城国体	77 栃木国体
1倍種目	164.5点 (43)	130.0点 (30)	185.5点 (46)	193.5点 (41)	352.5点 (80)
3倍種目	184.5点 (11)	132.0点 (10)	94.5点 (9)	129.0点 (11)	84.0点 (7)
5倍種目	55.0点 (4)	97.5点 (6)	22.5点 (3)	100.0点 (4)	160.0点 (6)
8倍種目	84.0点 (2)	44.0点 (1)	152.0点 (3)	48.0点 (1)	100.0点 (2)
合計	488.0点 (60)	403.5点 (49)	454.5点 (61)	470.5点 (57)	696.5点 (95)

(3) 競技別 ～『お家芸』競技の活躍が顕著～

今大会では40競技中35競技（冬季競技含む）が本大会に出場し、18競技（前回比+1）が得点をあげた。これらの競技は過去の大会においても得点している競技であり、今後も引き続き本県を牽引する競技としての活躍を期待したい。

国民体育大会 競技別 得点(過去10大会)

国 体 回 数	66回	67回	68回	69回	70回	71回	72回	73回	74回	77回
陸 上	42.0	37.0	16.33	23.0	13.0	18.0	12.0	39.0	12.5	69.0
水 泳	17.0	23.0	9.5	13.0	9.0	14.0	23.0	4.0	22.0	34.5
サ ッ カ ー										
ス キ ー	7.0									3.0
テ ニ ス	9.0					21.0				
ボ ー ト	28.0	22.0	54.5	25.0	84.0	76.0	84.0	27.0	58.0	64.0
ホ ッ ケ ー	80.0	80.0	44.0	20.0	104.0	84.0		152.0	48.0	100.0
ボ ク シ ン グ										
バ レ ー ボ ー ル	40.0	35.0		17.5	35.0	30.0	37.5	7.5	40.0	25.0
体 操		3.0	6.0			5.0				
バスケットボール			12.5						27.5	40.0
レ ス リ ン グ	34.0	23.0	25.5	26.0	23.5	28.5	29.5	23.5	22.5	35.0
ス ケ ー ト		5.0					5.0	1.0	12.0	24.0
セ ー リ ン グ	5.0	13.0	7.0	15.0	5.0	4.0	13.0	17.0	5.0	32.0
ウエイトリフティング	18.0	12.0	17.0	31.0	9.0	21.0	10.0	29.0	40.0	45.0
ハ ン ド ボ ー ル										
自 転 車	6.0	3.0	2.0				6.0			
ソ フ ト テ ニ ス										
卓 球										
軟 式 野 球										
相 撲										
馬 術	14.0	4.0	24.0	15.0	27.0	39.0		15.0	7.0	45.5
フ ェ ン シ ン グ										
柔 道		12.5				7.5	25.0			42.5
ソ フ ト ボ ー ル							44.0			
バ ド ミ ン ト ン	15.0	25.5	15.0				15.0			
弓 道								13.5	18.0	
ラ イ フ ル 射 撃	35.0	27.0	31.0	23.0	25.0	14.0	10.0	15.0	24.0	35.0
剣 道			25.0							
ラグビーフットボール										
スポーツクライミング	18.0							30.0	21.0	
カ ヌ ー	18.0	73.0	45.0	117.0	120.0	50.0	57.0	59.0	76.0	62.0
ア ー チェ リ ー	39.0	21.0	27.0	42.0	66.0	57.0	3.0			18.0
空 手 道			2.5		2.5		2.5			
銃 剣 道				15.0			21.0			
ク レ ー 射 撃										
な ぎ な た										
ボ ウ リ ン グ				3.0	7.0			12.0	17.0	15.0
アイスホッケー				25.0	10.0	15.0	5.0	10.0	20.0	
ゴ ル フ										
ト ラ イ ア ス ロ ン						4.0				7.0
合 計	425.0	419.0	363.8	410.5	540.0	488.0	402.5	454.5	470.5	696.5

※ 網掛けは、過去5大会で3回以上入賞実績のある競技

3. 「わた SHIGA 輝く国スポ」に向けた対応

第 79 回国スポで総合優勝するためには、今大会で獲得した競技得点 696.5 点の約 3 倍の点数（約 2100 点）を獲得し、総得点で 2500 点に達する必要がある。

このためには、今大会で得点した 18 競技のなかでも得点できていない「種別」および残る 22 競技で得点することが不可欠であり、成年・少年種別毎に以下の対応を図る。

		77 回国体 (実績)		79 回国スポ (想定)	必要な積上げ	
総合得点		1096.5 点	→	2500 点		
参加点		400.0 点		400 点		
競技得点合計		696.5 点		2100 点	1403.5 点	約 3.0 倍
競技得点	成年男子	242.5 点		750 点	507.5 点	約 3.1 倍
	成年女子	185.0 点		600 点	415.0 点	約 3.2 倍
	少年男子	196.0 点		450 点	254.0 点	約 2.3 倍
	少年女子	73.0 点		300 点	227.0 点	約 4.1 倍
得点競技 /本大会出場競技数		18 競技 /35 競技		40 競技 /40 競技		

(1) 成年種別

① 新戦力の獲得

- ・ 「成年選手確保計画」に基づく「スポーツ特別指導員」での採用、「SHIGA アスリートナビ」を通じた企業雇用等を通じ、未入賞種目を中心に個人競技の選手、団体競技のチームの核となる選手を獲得
- ・ 県外で活躍する「ふるさと選手」が開催年に本県より出場できるよう所属先と折衝

② 国体出場選手・チームへの支援拡充

- ・ 選手の個人強化活動、国体代表チームへの支援の充実

③ 団体競技・チームの強化

- ・ 団体競技での得点力アップに向け、定期的な合同練習や強豪県との対戦機会の充実等を通じ、国スポ出場チームの組織力を強化

(2) 少年種別

① 国体代表選手・チームの重点強化

- ・ 選手選考やチーム編成の時期の前倒しを行い、合同練習の頻度拡充・強豪チームとの実戦機会の確保等を通じ強化活動を充実
- ・ 強化拠点校単位の強化事業から、代表選手・チーム主体の強化事業にシフト

② ターゲットエイジの選手確保と重点強化

- ・ 引き続き優秀な選手の県内高校への進学を促進
- ・ ターゲットエイジの中から選手候補の絞り込みを徐々に行い、2025年の少年種別出場メンバーを重点的に強化

③ 指導体制（監督・スタッフ）の確立

- ・ 2025年の代表選手・チームの指導に専念できる体制を早期に構築

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」結果概要について

1. 大会概要

(1) 大会開催期日

令和4年10月29日(土)～10月31日(月)

(2) 滋賀県選手団概要

本部役員:12名、監督・コーチ:32名、選手55名 計99名

(3) 今大会の成績

金メダル:21種目、銀メダル:12種目、銅メダル:7種目 計40種目

(参考:前回(H30)福井大会 金メダル14種目、銀メダル18種目、銅メダル9種目)

【出場競技別選手数の推移】 ※茨城大会は直前に中止決定のため出場予定人数

		栃木大会	(茨城大会※)	福井大会
陸上競技	(身体)	4	5	4
	(知的)	6	6	7
水泳	(身体)	2	2	2
	(知的)	2	2	1
アーチェリー	(身体)	1	1	1
卓球 (サントテーブルテニス含む)	(身体)	2	2	2
	(知的)	2	2	2
	(精神)	1	2	
フライングディスク	(身体)	2	3	3
	(知的)	3	2	2
ボウリング	(知的)	2	2	2
ボッチャ	(身体)	2		
団体競技		14(ソフトボール)		13(ソフトボール)
		12(グラントソフトボール)		
計		55	29	39

2. 結果総括と今後の対応

- ・ 災害による中止、新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となった全国障害者スポーツ大会では、前回(福井大会)を上回る21種目で金メダルを獲得することができた。
- ・ 開催年の目標である「全種目(個人12種目・団体12種目)出場」に向け、「選手・スタッフ構想」に基づく育成・強化体制を整備中。(参考:開催年の想定出場選手数:309人)
- ・ 令和5年度より順次2025年強化指定選手を拡充するとともに、選手の育成・強化に関わるスタッフを確保、競技別練習機会の拡充を図る。